

# 教育センターの主な専門研修の概要

研修名		授業力向上のためのカリキュラム・マネジメント研修	校内研修を活性化させるためのリーダー育成研修	複式教育講座	中学校英語授業改善プロジェクト事業		中学校国語授業改善プロジェクト事業		中学校授業実践力向上研修 ～ 数学編 ～	小・中学校理科観察・実験基礎講座
日数(実施期間)		2日(教科等1日、領域1日)	3日	1日	8日(H22～24実施)	3日(H22～24実施)	5日(H21～23実施)	(H22～24実施)	2日(H24・25実施)	2日(小学校) 1日(中学校) (H23～H25実施)
目的		学習指導要領を具現化する教科・領域の授業力を身に付けさせるための実践的な研修を行い、学校の教育実践の中核として若年教員を指導・支援できるよう力量を高める。	学校の組織的な校内研修を活性化するために、研究主任の企画・運営スキルを高める。併せて、学校組織のキーパーソンのチーム・マネジメント力の向上を図る。	複式学級における学習指導法や学級経営などの専門的知識について理解を深め、指導力の向上を図る。	◆生徒が興味・関心をもって学習活動に参加し、英語科の基礎的・基本的な学力を身に付けることができるようにするため、中学校における英語科教員を対象に集中的な研修を実施し、その授業力の向上を図る。 ◆教科ミドルリーダーにおいては、各学年の到達目標に基づいた共通テストの作成力や分析力を高め、専門力の向上を図る。		生徒が興味・関心を持って学習活動に参加し、国語科の基礎的・基本的な学力を身に付けることができるようにするため、中学校における国語科教員を対象に集中的な研修を実施し、その授業力の向上を図る。		生徒の中学校数学科における学力を向上させるために、中学校の数学科教員を対象に、テスト分析を通じた授業改善に関する研修を実施し、実践的指導力の向上を図る。	児童生徒が興味・関心をもって学習活動に参加し、科学的な思考力・判断力・表現力を身に付けることができるようにするため、小中学校における理科教員を対象に理科観察・実験の基礎的な知識や技能に関する研修を実施し、実践的指導力の向上を図る。
実施形態		悉皆		悉皆	悉皆		悉皆		悉皆	悉皆
対象		◆採用15年次及び20年次の教諭、指導教諭及び主幹教諭 ◆小中学校、特別支援学校(小、中学部)	◆初めて研究主任になった教員 ◇研究主任、教務主任、学年主任等の教員(校長推薦の場合は受講者に加える)	小・中学校において、はじめて複式学級を担当する教頭及び教諭	平成22年4月1日現在、採用11年次から採用25年次までの中学校教員(教頭、主幹教諭、指導教諭、臨時的任用教員は除く。)で、英語科免許保有者  ※対象者を3年間に分けて実施	左に掲げる者のうち、教科ミドルリーダー育成事業を受講し認定された者	平成21年4月1日現在、採用11年次から採用25年次までの中学校教員(教頭、主幹教諭、指導教諭、臨時的任用教員は除く。)で、国語科免許保有者  ※対象者を3年間に分けて実施	左の研修修了者	平成24年4月1日現在、採用3年次から採用14年次までの中学校教員(教頭・臨時的任用教員は除く。)で、数学科免許保有者  ※対象者を2年間に分けて実施	◆小学校第3～6学年の理科担当教員(各学校1名) ◆中学校の理科担当教員(各学校1名)
内容		◆講義、実践発表、実践交流・協議 ◆教科等(選択) ◇小学校、特別支援学校(小学部) 国語 社会 算数 理科 生活 図画工作 家庭 体育 外国語活動 ◇中学校、特別支援学校(中学部) 国語 社会 数学 理科 美術 保健体育 技術・家庭 外国語  ◆領域(選択) 道徳、総合的な学習の時間、特別活動	◆講義、演習、実践発表 ◆研究主任の職務 ◆組織マネジメントやコーチング等	◆講義、公開授業、実践発表、研究協議等 ◆講義 複式教育の基本的な考え方 ◆公開授業 第5・6学年 理科及び第3・4学年 算数科 ◆実践発表 複式学級における学習指導と学級経営 ◆実践交流 持参した資料をもとにした協議	〈生徒の英語学力定着のための授業力向上研修〉 ◆集合研修 5日 ・県の教育課題 ・学習指導要領と教科書の活用の仕方 ・自己の授業ビデオ分析  ◆地域研修 3日 ・授業の見とり方 ・共通テストの結果分析、検証 ・アクションリサーチ(実践、検証等)	〈共通テスト開発研修〉 ◆集合研修 3日 ◇演習・協議 ・共通テスト作成	◆集合研修 5日 ・県の教育課題 ・学習指導要領の作成、授業改善の実践研究の手法 ・授業分析の手法 ・新学習指導要領における指導計画、授業の在り方 ・学習指導案検討・模擬授業		◆集合研修 2日 ◇講義、実践発表、演習・協議 ・テスト分析の理論 ・テスト分析を生かした授業実践 ・単元テストの分析 ・PDCAサイクルを生かした授業づくり ・テスト問題の作成 ・各校で実施したテストの誤答分析	※各管内での地域別実施 ◆小学校編 ・小学校の学習内容に沿った観察・実験の実習 ・薬品の取扱いと実験終了後の薬品処理 等  ◆中学校編 ・教科書の観察・実験を中心とした実習 ・全国学力学習状況調査問題及び思考力問題集を踏まえた、観察・実験における思考力・判断力・表現力育成の具体的方策
外部講師		・道徳 高知大学 准教授 田邊重任 ・総合的な学習の時間 鳴門教育大学 教授 村川雅弘 ・特別活動 國學院大学 教授 宮川八岐	前東村山市立大岱小学校 校長 西留安雄 鳴門教育大学 教授 村川雅弘	・研究授業 高知大学教育学部附属小学校 教諭 長田 純彦 高知大学教育学部附属小学校 教諭 小松 和久 ・実践交流 教科研究センター 指導アドバイザー 4名	高知工科大学 教授 長崎政浩 関西外国語大学 教授 中島洋一 国分寺市立第一中学校 主任教諭 相澤秀和	高知工科大学 教授 長崎政浩 東京外国語大学 教授 根岸雅史	宮城教育大学教職大学院 教授 相澤秀夫 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 富山 哲也		東京学芸大学 准教授 西村圭一 山梨県教育庁義務教育課 指導主事 清水宏幸 東広島市教育委員会 指導主事 鷹橋忠文	
所属校での研修内容		◆受講する部会の協議用資料の作成 ◇教科等:2学期に授業する学習指導案の作成 ◇領域:これまでの実践のまとめ ◆2学期の取組の報告書の作成(修正した学習指導案含む)	◆2回目、3回目の協議用資料の作成	◆協議用資料の作成			◆公開授業 3回実施(管理職の参加による) ◆研究授業・協議 1回実施 ◆授業分析シートの活用	◆公開授業 1回実施(管理職の参加による) ◆授業分析シートの活用	◆授業実践(作成したテスト内容) ◆作成したテストの実施	
受講者評価等		◆自己評価及び管理職評価	◆自己評価及び管理職評価				◆国語好感度アンケート(生徒による授業評価票) ◆国語授業力尺度を用いた自己評価及び管理職評価	◆国語好感度アンケート(生徒による授業評価票) ◆国語授業力尺度を用いた自己評価及び管理職評価		